

「平成25年度 県民の幸福に関する意識調査」

報告書

平成25年8月

目 次

1 調査設計	1
2 調査項目	2
3 調査結果	3
(1)全体集計結果・分析	3
(2)クロス集計結果・分析	13
①男女別	13
②年代別	16
③地域別	20
④職業別	24
⑤まとめ	28

資料:調査票 巻末

1 調査設計

- 1) 調査目的 県民幸福量を測る総合指標としての「県民総幸福量(AKH)」の算出に必要なデータを収集する。
- 2) 調査対象者 県内在住の20歳以上の男女
- 3) 標本抽出法 今年度は「地域によって求める幸福の形は異なる」との認識のもと、地域ごとに精度の高い分析を行うため、昨年度の抽出法(①)に②・③のステップを加えて、設定標本数3500人分の抽出を行った。
【具体的な抽出法】
① 県内全市町村の満20歳以上の男女の人口構成比により標本数3000人を按分して市町村ごとの標本数を決定し、各市町村の住民基本台帳に基づき無作為抽出。
② 各市町村を下記の11地域に分類した場合、回収率を50%とおいたときに、1地域で96人(※)の回収に満たない地域が想定されるため、追加500人分を不足する地域に男女比・人口比で按分して割り付け。
※信頼度95%で誤差10%を想定
③ 該当地域内の市町村ごとに男女別で無作為抽出。

表:11地域の内訳

熊本	熊本市	※阿蘇	阿蘇市 南小国町 小国町 産山村 高森町	※芦北	水俣市 芦北町 津奈木町
※宇城	宇土市 宇城市 美里町			※球磨	人吉市 錦町 あさぎり町 多良木町 湯前町 水上村 相良村 五木村 山江村 球磨村
玉名	荒尾市 玉名市 玉東町 南関町 長洲町 和水町	※上益城	西原村 南阿蘇村 御船町 嘉島町 益城町 甲佐町 山都町		
※鹿本	山鹿市	八代	八代市 氷川町		
菊池	菊池市 合志市 大津町 菊陽町				

※印の地域が人口比より多めに調査票を割り付けた地域

- 4) 調査方法 郵送調査法
- 5) 設定標本数と回収標本数 3500人設定 1771人回収 回収率50.6%
- 6) 調査時期 平成25年5月27日～平成25年6月10日
但し、6月28日の消印があるものまで有効とした。

◇ 集計上の注意点

標本を人口比より多めに設定した地域が6地域存在するため、県全体や性別、年代別、職業別の分析には、これらの地域の回答が多めに反映されることとなる。その影響を回避するとともに、平成24年度との比較が可能となるように、県全体、性別、年代別、職業別の集計にあたり、多めに設定した6地域については、3000人で設定した場合の回収目標数になるように回答データを等間隔抽出して削減した。

従って、クロス集計の地域別のみが3500人で設定した際の回収数で集計している。

注) 等間隔抽出とは、ある集団から標本を抽出する際に、集団に属する個々に通し番号を振り、必要な標本数を満たすように10件おき、20件おきなど、等間隔で抽出する方法。

2 調査項目

調査項目は以下の3項目である。

[問1]直観的な幸福度について

現在の「直観的な幸福度」について、「感じている」「やや感じている」「どちらでもない」「どちらかといえば感じていない」「感じていない」の5段階で質問。

[問2]”4つの分類”のウエイト(重要度)について

幸福要因の”4つの分類”(「夢を持っている」「誇りがある」「経済的な安定」「将来に不安がない)」について、幸福の全体を「10」点とした場合に、それぞれのウエイト(どれを重視するか degree、重要度)が何点になるのかを質問。

[問3]”12の項目”に関する満足度(実感や考え)について

幸福要因の”12の項目”に関し、それらに対する実感や考えを5段階(「感じている」～「感じていない」または「持っている」～「持っていない」)で質問。

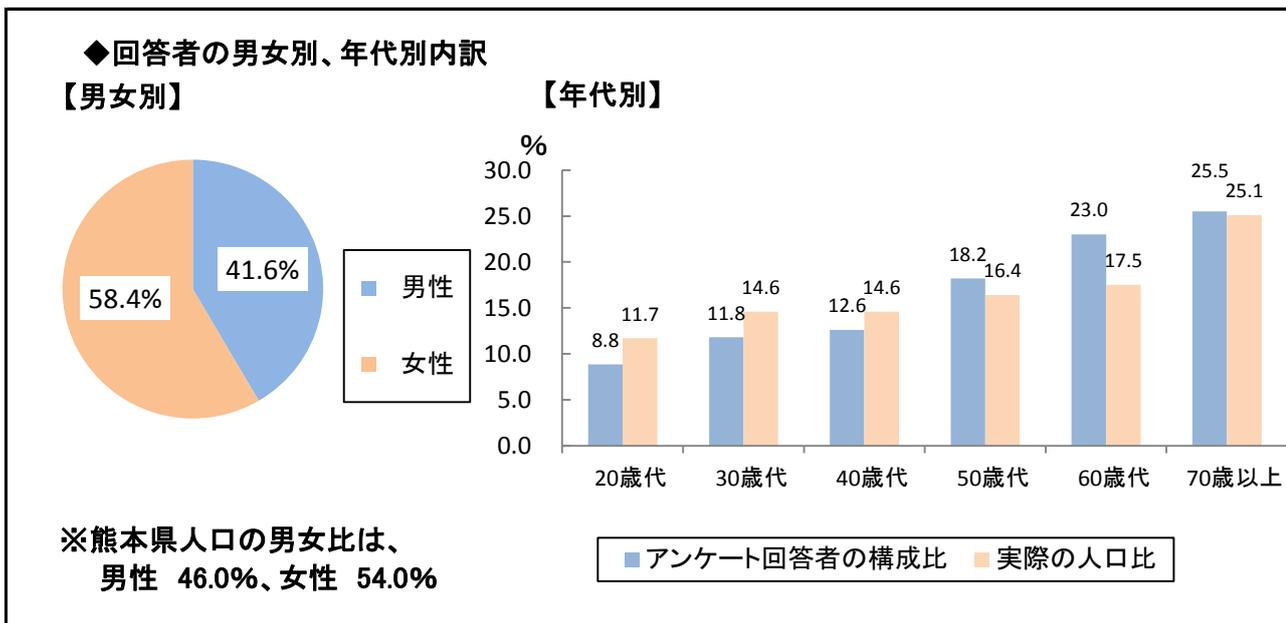
なお、この間で把握する実感や考えを回答者の「満足度」と捉えている。

3 調査結果

(1) 全体集計結果・分析

男女別及び年代別の内訳は、以下のグラフのとおりである。男女別では、女性の回答が多かった。また、年代別では、実際の熊本県人口構成比(平成24年)と比べて、50歳以上の方からの回答が多かった。

注) 人口比より多めに設定した6地域の影響をなくした1,492人の標本により集計。



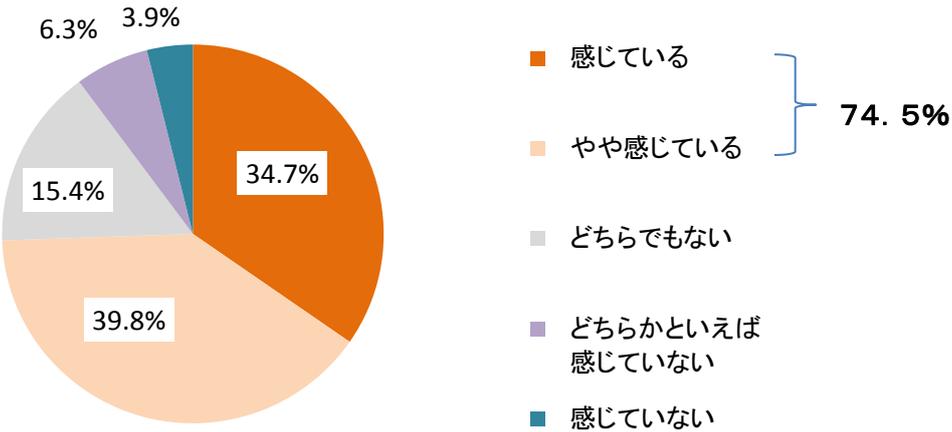
各問及びその回答は次ページ以降のとおりである。

なお、いずれも無回答者の数を除いて集計した結果である。

問1 直観的な幸福度について

問1では、現在の端的に幸せと感じているかという「直観的な幸福度」を5段階評価で質問した。その結果は以下のとおりである。

現在、あなたは幸せだと感じていますか。
最も当てはまるものを1つ選んで、番号に「○」をつけてください。



(回答数:1,417件)

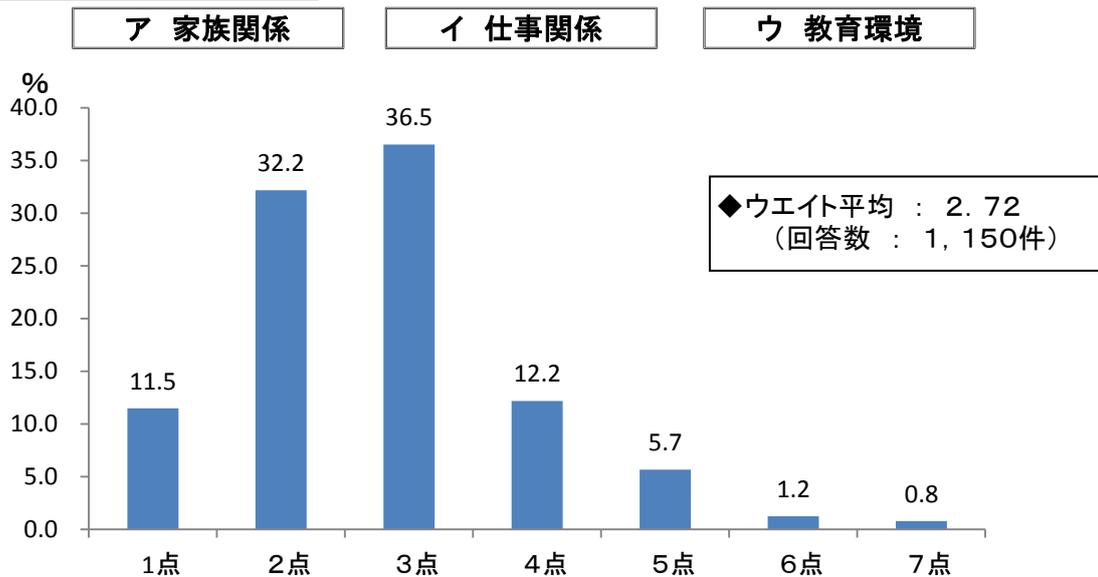
「感じている」及び「やや感じている」を合計した「幸福」だと感じている割合は74.5%であった。

問2 “4つの分類”のウエイト(重要度)について

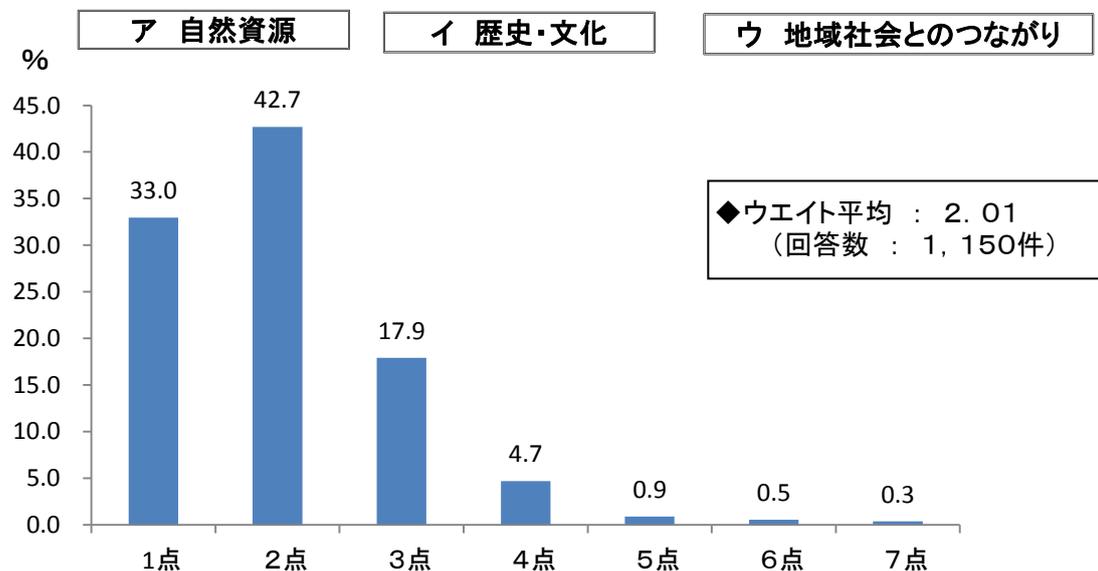
問2では、幸福要因の“4つの分類”(「A 夢を持っている」「B 誇りがある」「C 経済的な安定」「D 将来に不安がない)について、幸福の全体を「10」点としたとき、AからDのウエイト(どれを重視するか degree、重要度)がそれぞれ何点になるのかを質問した。なお、集計に際しては“4つの分類”のすべてに1以上のウエイトがつけられ、かつ合計が10点となった回答を対象とし、有効回答数は1,150件であった。

あなたの幸福の全体を「10」点としたとき、A～Dの“4つの分類”の重要度(どれを重視するか degree、ウエイト)は、それぞれ何点になりますか。

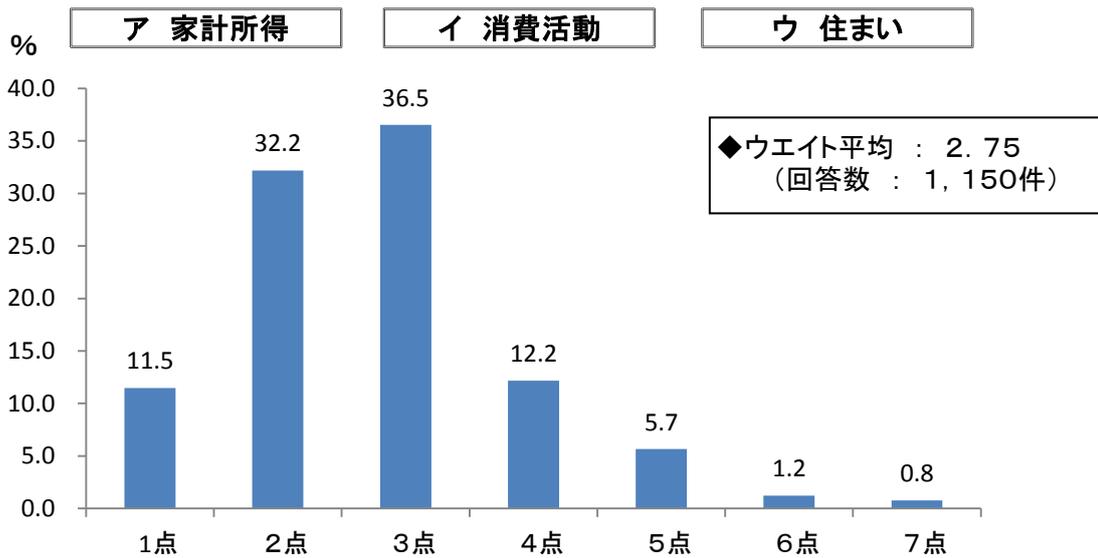
A 夢を持っている



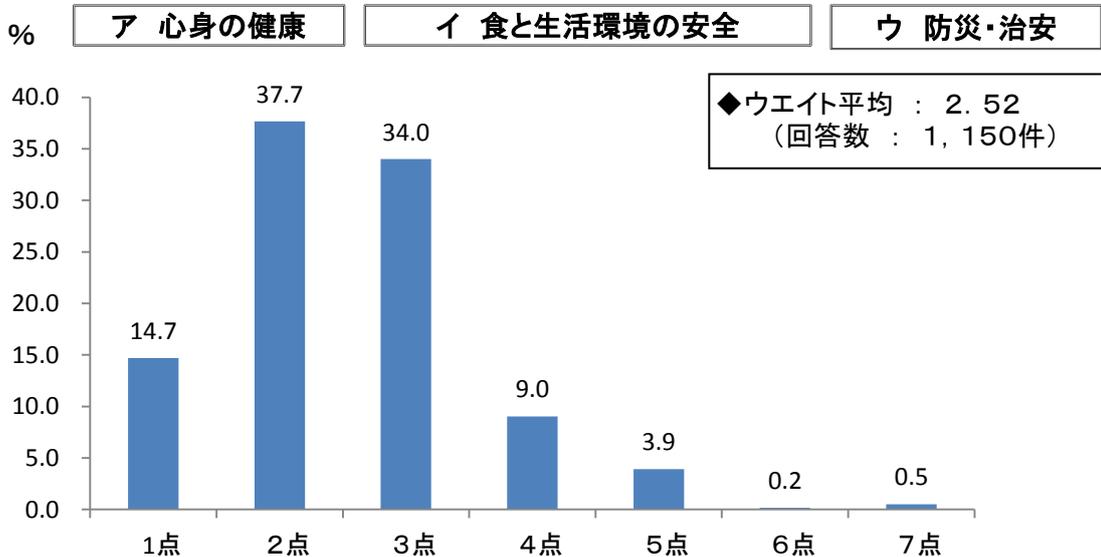
B 誇りがある



C 経済的な安定

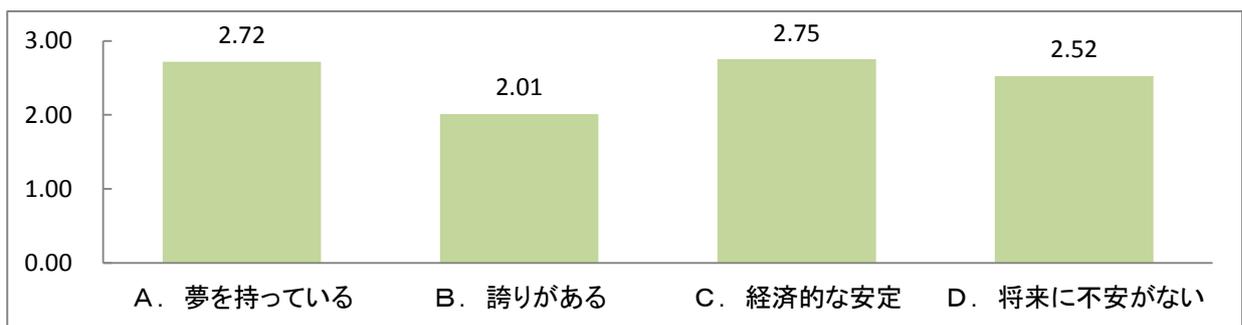


D 将来に不安がない



上記の“4つの分類”のウエイトを整理したのが次のグラフである。

＜“4つの分類”のウエイトの平均値＞



問3 “12の項目”に対する満足度(実感や考え)について

問3では、幸福要因の“12の項目”に関して、それぞれに対する実感や考えを5段階で答えてもらうよう質問した。

結果は次ページ以降の図のとおりである。

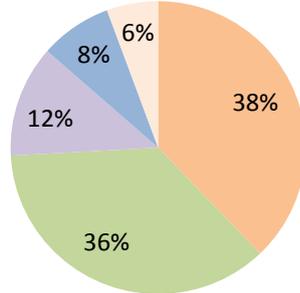
左の円グラフは、それぞれの回答数の割合を示している。また、右の「満足度平均」は、「感じている(または、「持っている」)」を5点、「やや感じている(または、「少し持っている」)」を4点、「どちらでもない」を3点、「あまり感じていない(または、「あまり持っていない」)」を2点、「感じていない(または、「持っていない」)」を1点として、それらの平均値(加重平均)を示している。なお、集計に際しては、“12の項目”のすべてに回答があったものを対象とし、有効回答数は1,403件であった。

次のそれぞれの項目について、最も当てはまるものを1つ選んで番号に「○」をつけてください。

【A 夢を持っている】

〔ア 家族関係〕

あなたは、家族で叶えたいことや、家族に叶えてもらいたいことなど、家族のことで将来の夢を持っていますか？



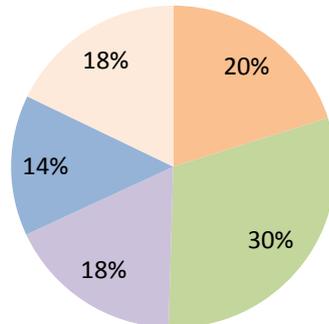
◆満足度平均 : 3.9
(回答数 : 1,403件)

- 持っている
 ■ 少し持っている
 ■ どちらでもない
 ■ あまり持っていない
 ■ 持っていない

〔イ 仕事関係〕

あなたは、仕事※のことで将来の夢を持っていますか？

※仕事……パート・アルバイトや社会参加活動、ボランティア活動などを含む

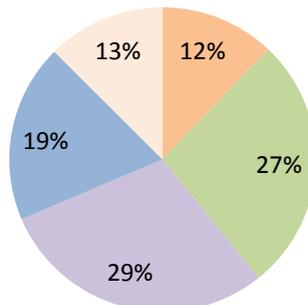


◆満足度平均 : 3.2
(回答数 : 1,403件)

- 持っている
 ■ 少し持っている
 ■ どちらでもない
 ■ あまり持っていない
 ■ 持っていない

〔ウ 教育環境〕

あなたは、将来の夢の実現に向けて学べる環境にあると感じていますか？



◆満足度平均 : 3.1
(回答数 : 1,403件)

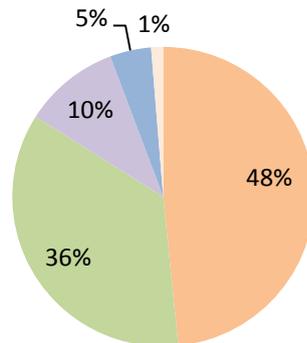
- 感じている
 ■ やや感じている
 ■ どちらでもない
 ■ あまり感じていない
 ■ 感じていない

【 B 誇りがある 】

〔ア 自然資源〕

あなたは、地域の自然※を素晴らしいと感じていますか？

※地域の自然……山、海、河川、森林など



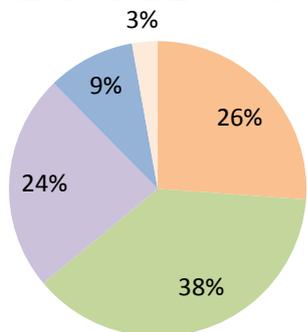
◆満足度平均 : 4.3
(回答数 : 1,403件)

■ 感じている ■ やや感じている ■ どちらでもない ■ あまり感じている ■ 感じている

〔イ 歴史・文化〕

あなたは、地域の歴史や文化※に誇りを感じていますか？

※地域の歴史や文化……歴史的な建造物や史跡、伝統芸能、伝承文化、芸術文化な



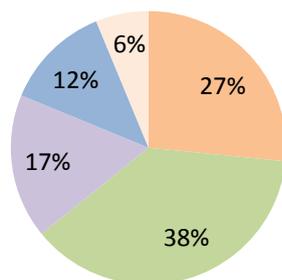
◆満足度平均 : 3.8
(回答数 : 1,403件)

■ 感じている ■ やや感じている ■ どちらでもない ■ あまり感じている ■ 感じている

〔ウ 地域社会とのつながり〕

あなたは、地域社会とのつながり※を感じていますか？

※地域社会とのつながり……近所づきあい、地域の行事・ボランティア活動への参加、友人・知人との交流など



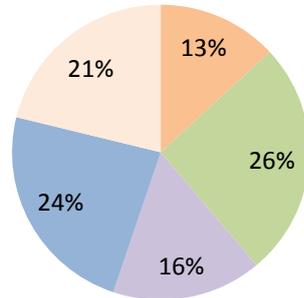
◆満足度平均 : 3.7
(回答数 : 1,403件)

■ 感じている ■ やや感じている ■ どちらでもない ■ あまり感じている ■ 感じている

【 C 経済的な安定 】

〔ア 家計所得〕

あなたは、必要な所得や収入が得られていると感じていますか？



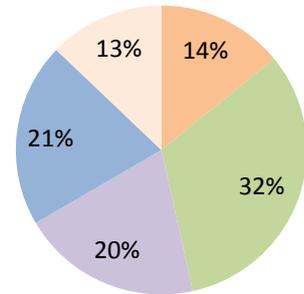
◆満足度平均 : 2.9
(回答数 : 1,403件)

■ 感じている ■ やや感じている ■ どちらでもない ■ あまり感じている ■ 感じていない

〔イ 消費活動〕

あなたは、必要なモノやサービス*を購入できていると感じていますか？

*サービス……レジャーや余暇活動を含む

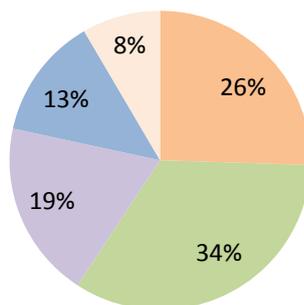


◆満足度平均 : 3.1
(回答数 : 1,403件)

■ 感じている ■ やや感じている ■ どちらでもない ■ あまり感じている ■ 感じていない

〔ウ 住まい〕

あなたは、今の住まいに快適さやゆとりを感じていますか？



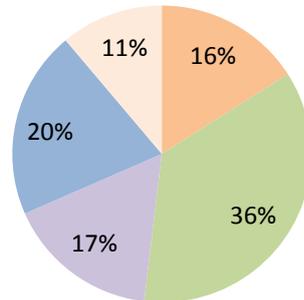
◆満足度平均 : 3.6
(回答数 : 1,403件)

■ 感じている ■ やや感じている ■ どちらでもない ■ あまり感じている ■ 感じていない

【 D 将来に不安がない 】

〔ア 心身の健康〕

あなたは、こころやからだ**が健康だと感じていますか？**



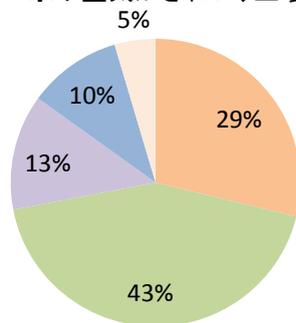
◆満足度平均 : 3.3
(回答数 : 1,403件)

- 感じている ■ やや感じている ■ どちらでもない ■ あまり感じている ■ 感じている

〔イ 食と生活環境の安全〕

あなたは、**食べ物や地域の生活環境が安全***だと感じていますか？

※地域の生活環境が安全……水や空気がきれい、土壌が汚染されていない、騒音が少ないなど

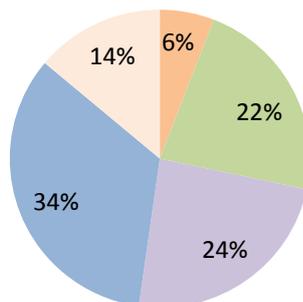


◆満足度平均 : 3.8
(回答数 : 1,403件)

- 感じている ■ やや感じている ■ どちらでもない ■ あまり感じている ■ 感じている

〔ウ 防災・治安〕

あなたは、災害や防犯に対する**備えができていると感じていますか？**

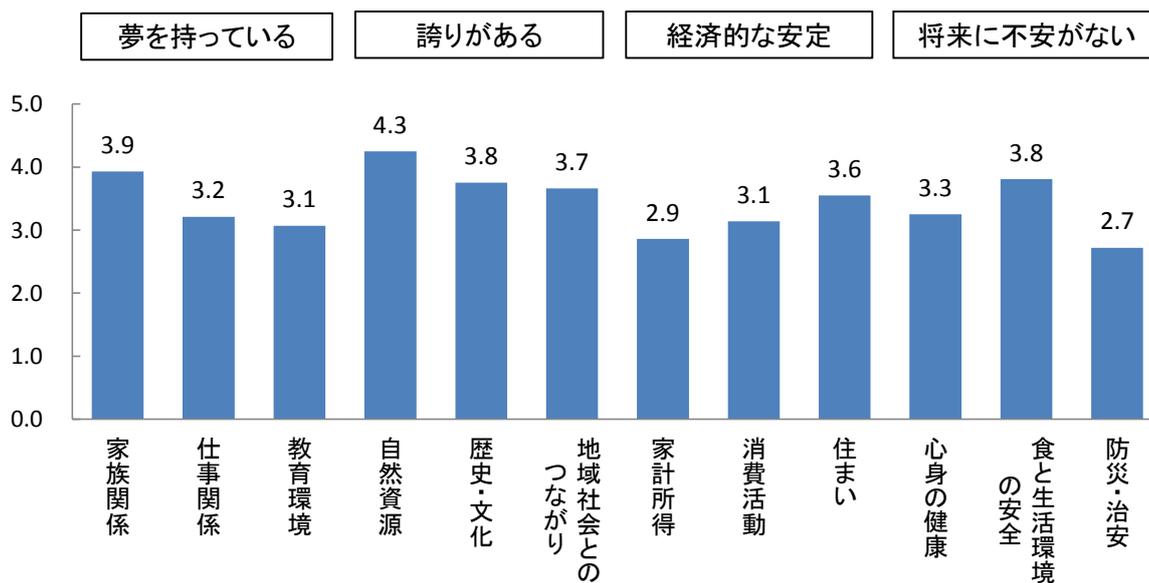


◆満足度平均 : 2.7
(回答数 : 1,403件)

- 感じている ■ やや感じている ■ どちらでもない ■ あまり感じている ■ 感じている

以上の結果を“4つの分類”ごとに整理すると次のとおりとなる。
 なお、それぞれの分類における各項目の満足度の順位は前年度と変わらなかった。

- ① 「A 夢を持っている」
 「夢を持っている」に対する満足度では、「家族関係」が3.9で最も高く、次に「仕事関係」3.2、「教育関係」3.1であった。
- ② 「B 誇りがある」
 「誇りがある」に対する満足度では、「自然資源」が4.3で最も高く、“4つの分類”の各項目の中でも最も高かった。次に「歴史・文化」3.8、「地域社会とのつながり」3.7であった。
- ③ 「C 経済的な安定」
 「経済的な安定」に対する満足度では、「住まい」が3.6で最も高く、次に「消費活動」3.2、「家計所得」2.8であった。
- ④ 「D 将来に不安がない」
 「将来に不安がない」に対する満足度では、「食と生活環境の安全」が3.8で最も高く、次に「心身の健康」3.3、「防災・治安」2.7であった。
 「防災・治安」は“4つの分類”の各項目の中で、最も満足度が低い項目であった。



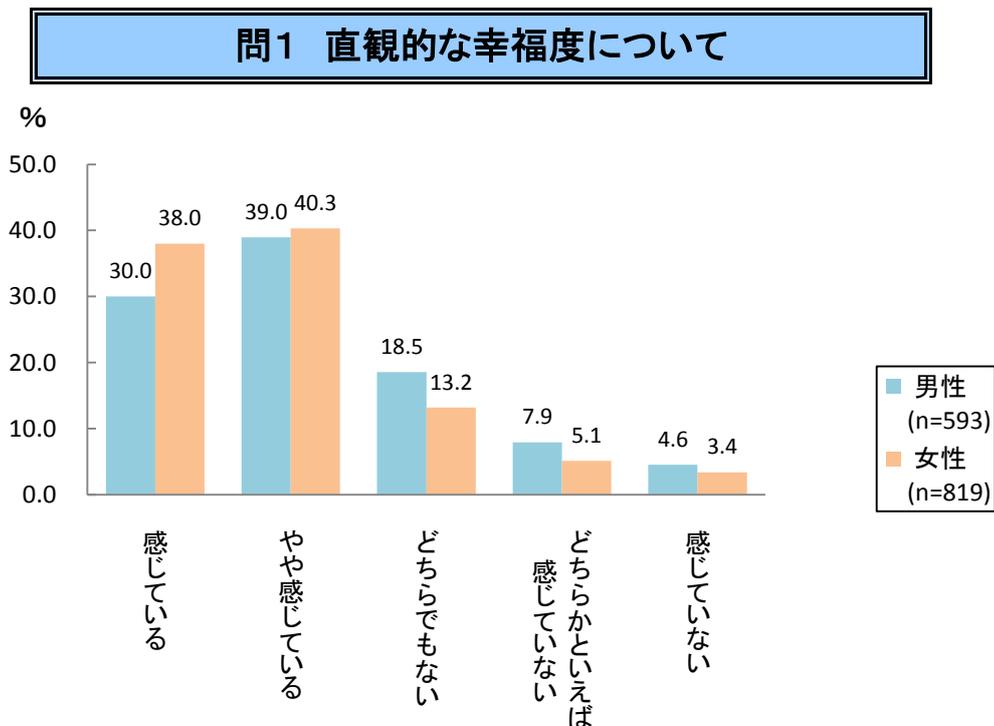
(2)クロス集計結果・分析

男女別、年代別、居住地別、職業別にクロス集計を行った。

なお、集計に際しては、設問ごとに回答されたすべてを対象とした。このため、回答数がそれぞれ異なっている。

また、職業別に関しては、有効回答数が特に少なく、十分な分析に必要となるデータ数を確保できていない区分があるため、示された数値に一定の誤差が含まれる点に留意する必要がある。

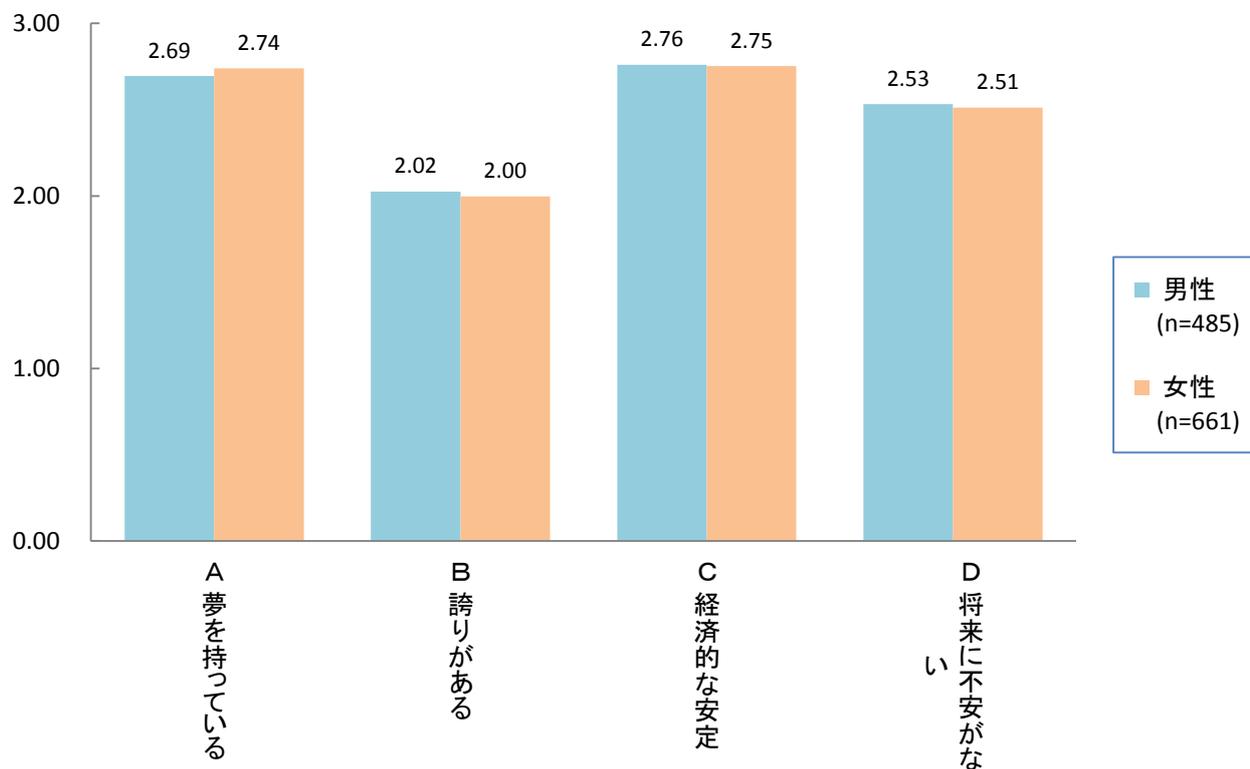
①男女別



「直観的な幸福度」について、「幸福」だと感じている割合（「感じている」と「やや感じている」の合計）は、男性69.0%、女性78.3%であった。男性よりも女性の幸福度が高いという、前年度、前々年度と同じ結果であった。

問2 “4つの分類”のウエイト(重要度)について

“4つの分類”のウエイトの平均値は、次図のとおりである。

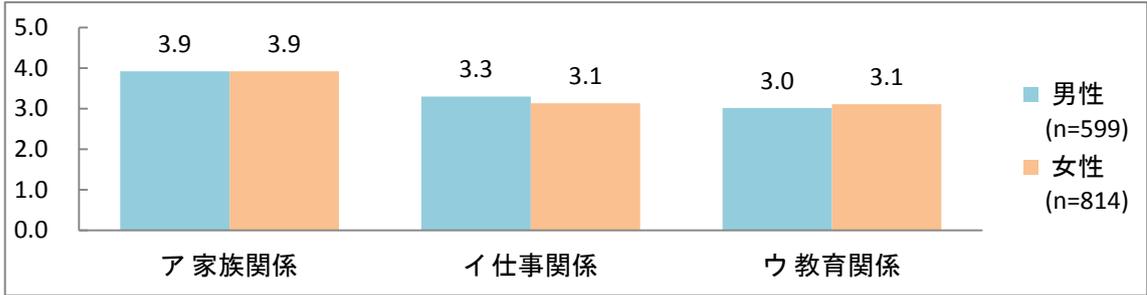


“4つの分類”のウエイトについて、男女間の差はみられなかった。ウエイトの高さの順は、男女ともに「C 経済的な安定」、「A 夢を持っている」、「D 将来に不安がない」、「B 誇りがある」である。

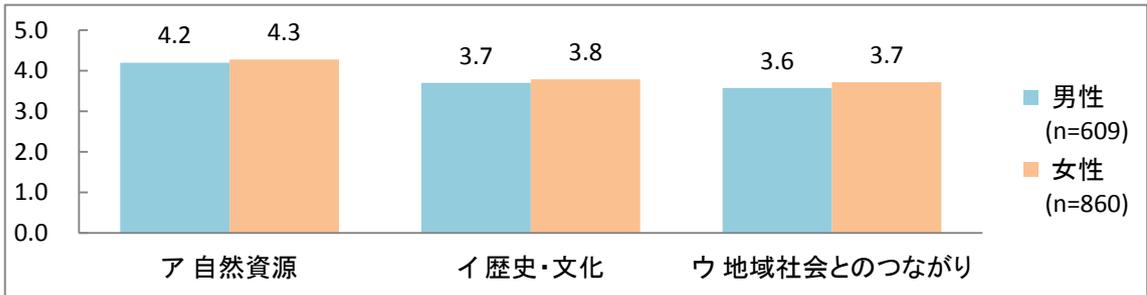
問3 “12の項目”に対する満足度(実感や考え)について

幸福要因の“12の項目”について、それぞれの満足度の平均値は次図のとおりである。

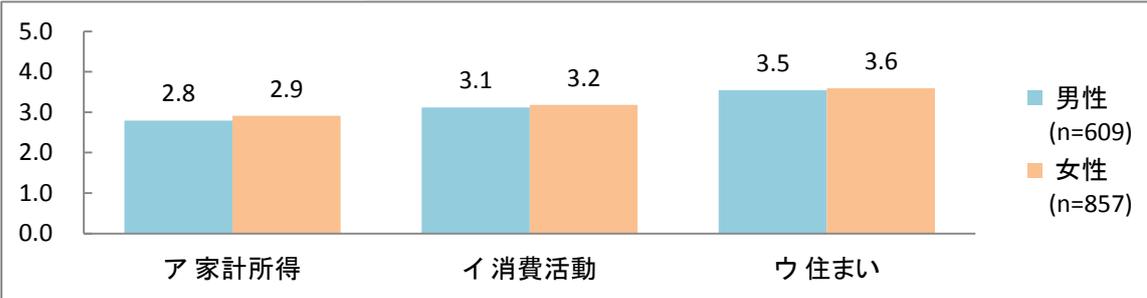
A 夢を持っている



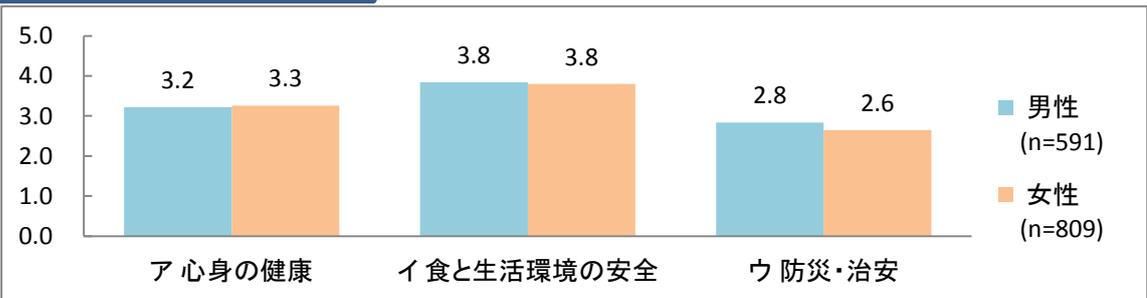
B 誇りがある



C 経済的な安定



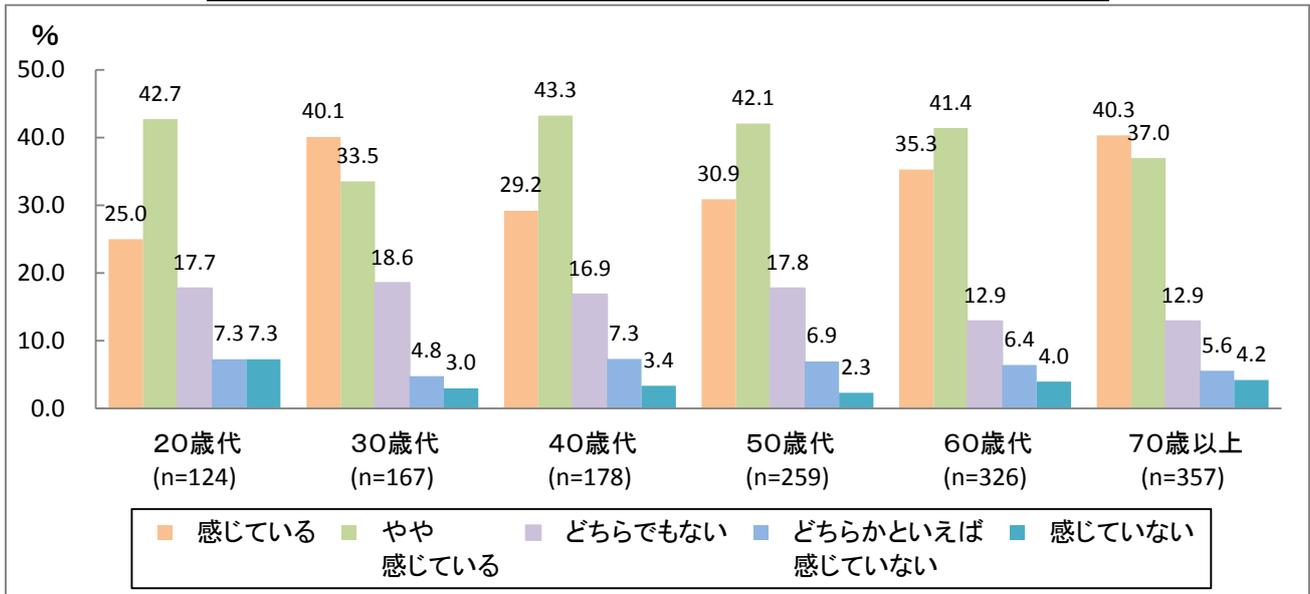
D 将来に不安がない



“12の項目”のそれぞれについて、男女の満足度の差は0.2ポイント以下であり、総じて男女の差はあまりないと考えられる。

②年代別

問1 直観的な幸福度について



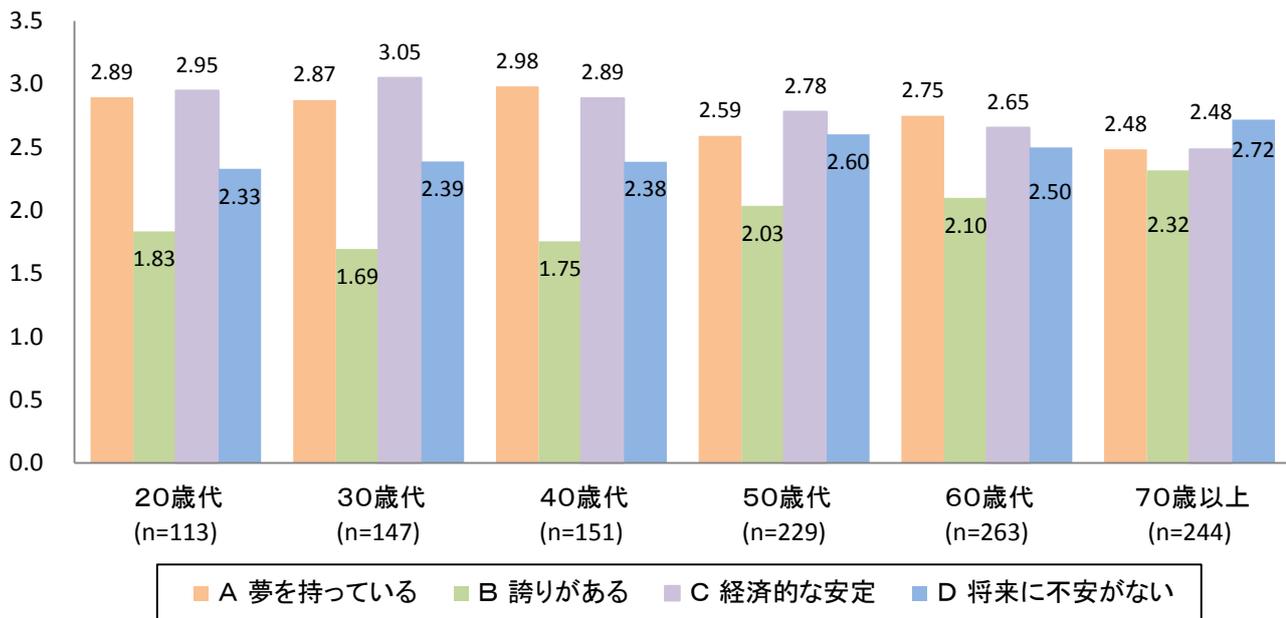
「直観的な幸福度」について、「幸福」だと感じている割合（「感じている」と「やや感じている」の合計）では、70歳以上が77.3%で最も多かった。次に60歳代76.7%、30歳代73.6%、50歳代73.0%、40歳代72.5%、20歳代67.7%と続き、どの年代もほぼ7割～8割は「幸福」と感じている。

このなかで、30歳代と70歳以上の「感じている」が4割と他の年代に比べ多く、幸福感の強さがうかがえるが、逆に20歳代では「感じている」が25%と最も少なくなっていることが目立つ。

【年代別に見た「幸福」だと感じている割合】

%	63 ~	66 ~	69 ~	72 ~	75 ~	77 ~	80 ~	83 ~
年代		20歳代 67.7		30歳代 73.6		60歳代 76.7		
			40歳代 72.5			70歳以上 77.3		
			50歳代 73.0					

問2 “4つの分類”のウエイト(重要度)について

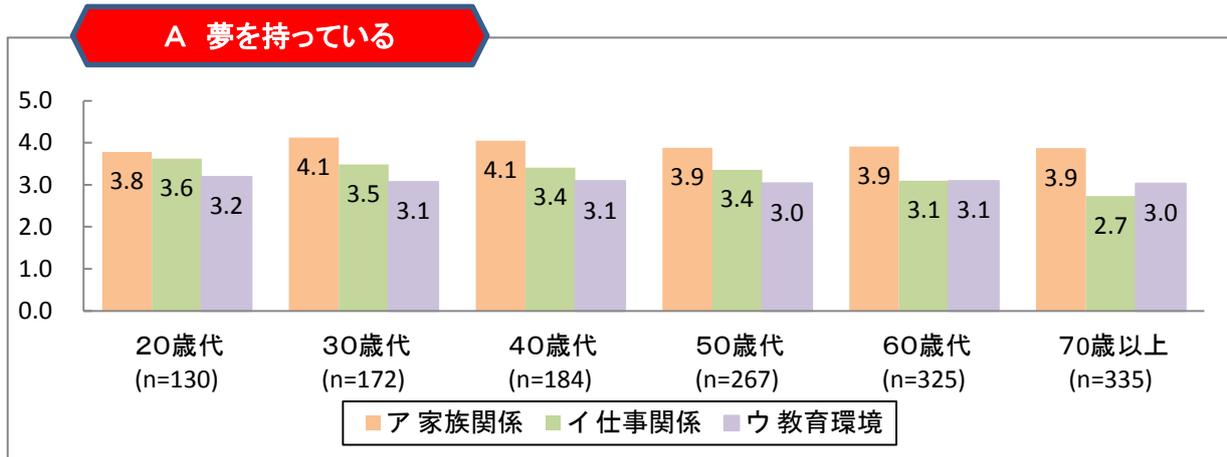


ウエイトの高さの順序について、20歳代と30歳代では「C 経済的な安定」、「A 夢を持っている」、「D 将来に不安がない」、「B 誇りがある」の順となり、40歳代と60歳代では、その上位2つが入れ替わっている。概ね「C 経済的な安定」と「A 夢を持っている」が上位を占めるが、年齢とともに、4つの分類の差は縮まっていく傾向がみられる。

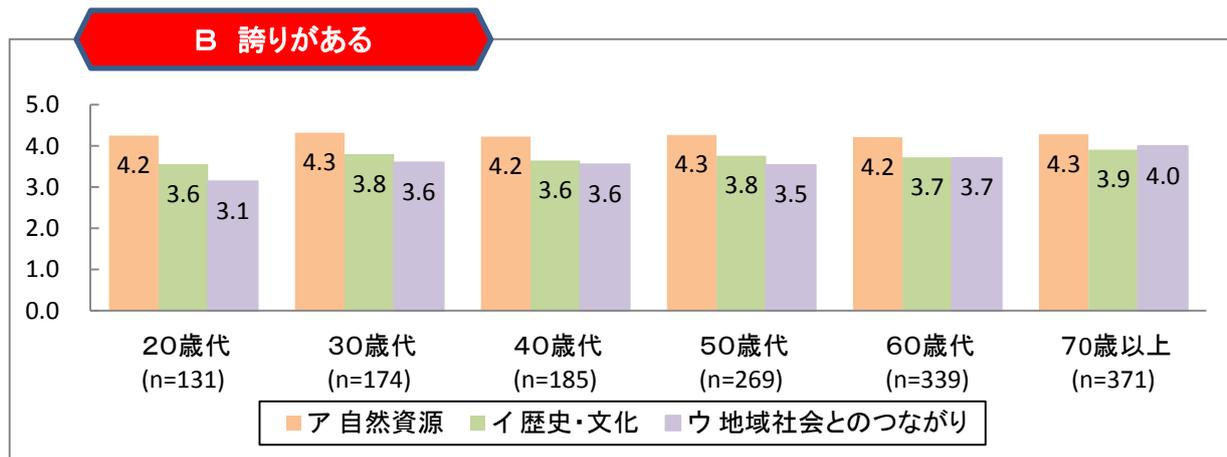
類 型	年 代
[類型Ⅰ] 「C 経済的な安定」 → 「A 夢を持っている」 → 「D 将来に不安がない」 → 「B 誇りがある」	20歳代 30歳代
[類型Ⅱ] 「A 夢を持っている」 → 「C 経済的な安定」 → 「D 将来に不安がない」 → 「B 誇りがある」	40歳代 60歳代
[類型Ⅲ] 「C 経済的な安定」 → 「D 将来に不安がない」 → 「A 夢を持っている」 → 「B 誇りがある」	50歳代
[類型Ⅳ] 「D 将来に不安がない」 → 「C 経済的な安定」 = 「A 夢を持っている」 → 「B 誇りがある」	70歳以上

問3 ”12の項目”に対する満足度(実感や考え)について

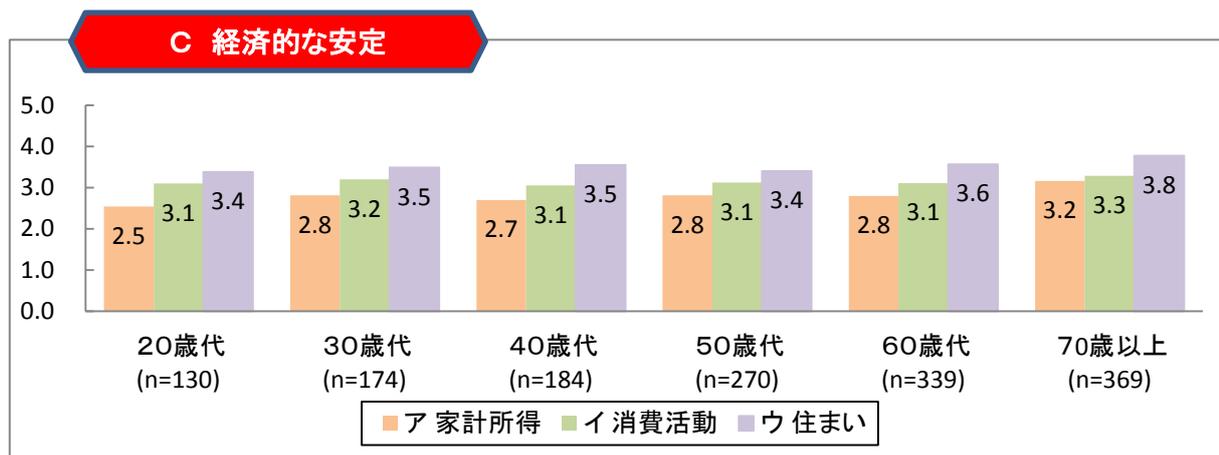
“4つの分類”ごとに、各項目の満足度の平均値を年代別に比較した。



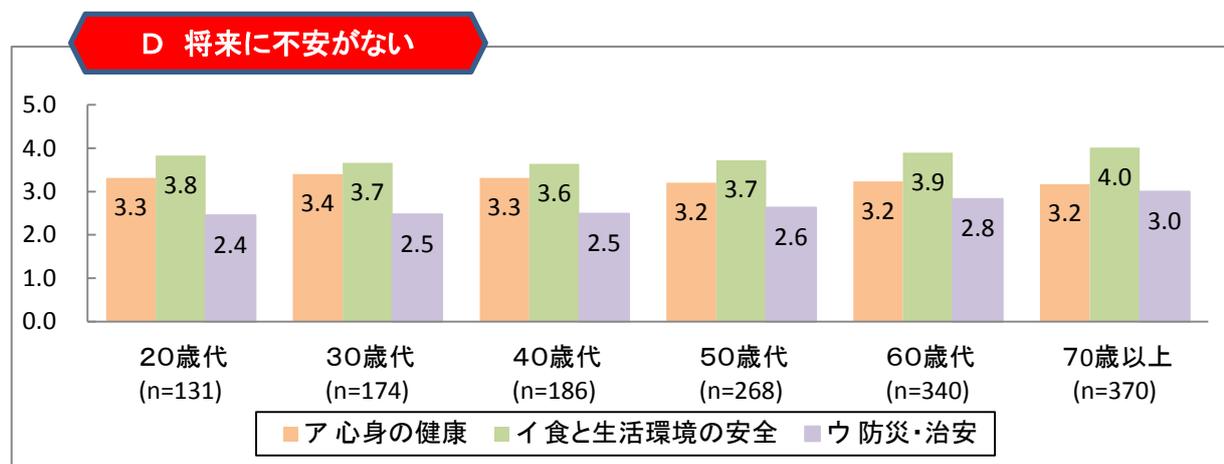
どの年代も「ア 家族関係」が最も高くなった。各項目の平均値の高さは、20歳代から50歳代までは「ア 家族関係」、「イ 仕事関係」、「ウ 教育環境」の順であり、同じ傾向がみられるが、60歳代を境に70歳以上では「ア 家族関係」に次いで「教育環境」「仕事関係」の順となった。



どの年代も「ア 自然資源」が最も高くなった。「ウ 地域社会とのつながり」では20歳代が他の年代に比べて低くなっていることがみられる。



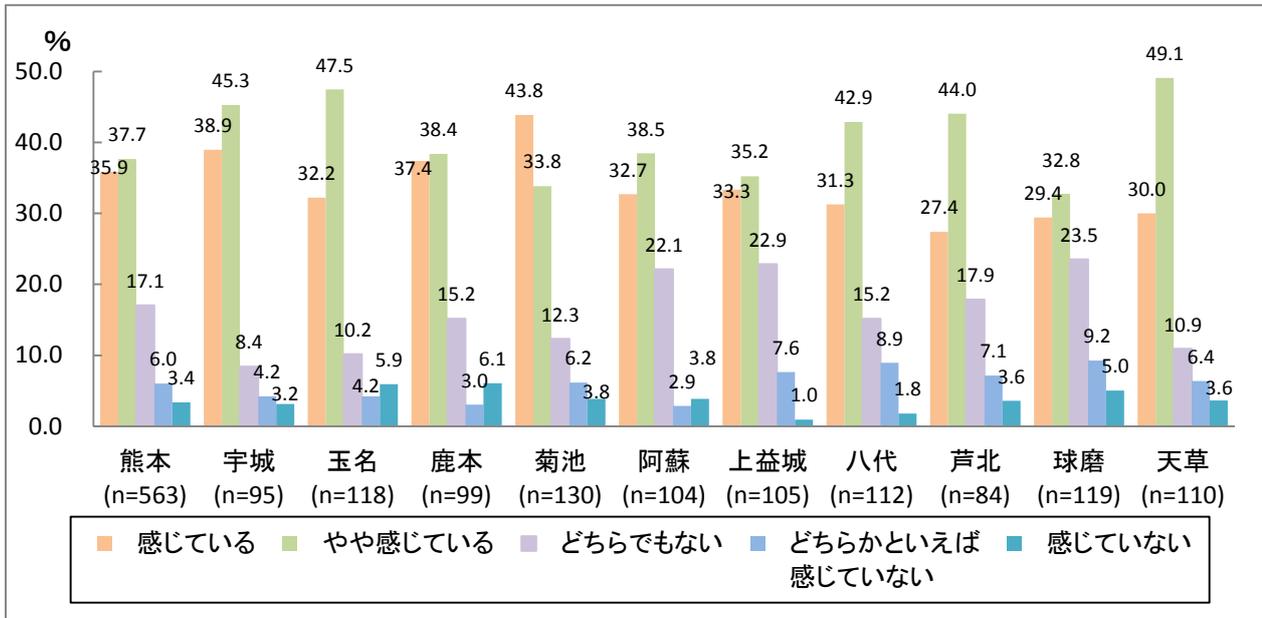
どの年代も「ウ 住まい」が最上位で、次いで「イ 消費活動」「ア 家計所得」の順であり、同じ傾向がみられた。



どの年代も「イ 食と生活環境の安全」が最上位で、次いで「ア 心身の健康」「ウ 防災・治安」の順であり、同じ傾向がみられた。ただし、年齢が上がるにつれ、徐々に「ウ 防災・治安」の満足度が上昇していることがみてとれた。

③地域別

問1 直観的な幸福度について

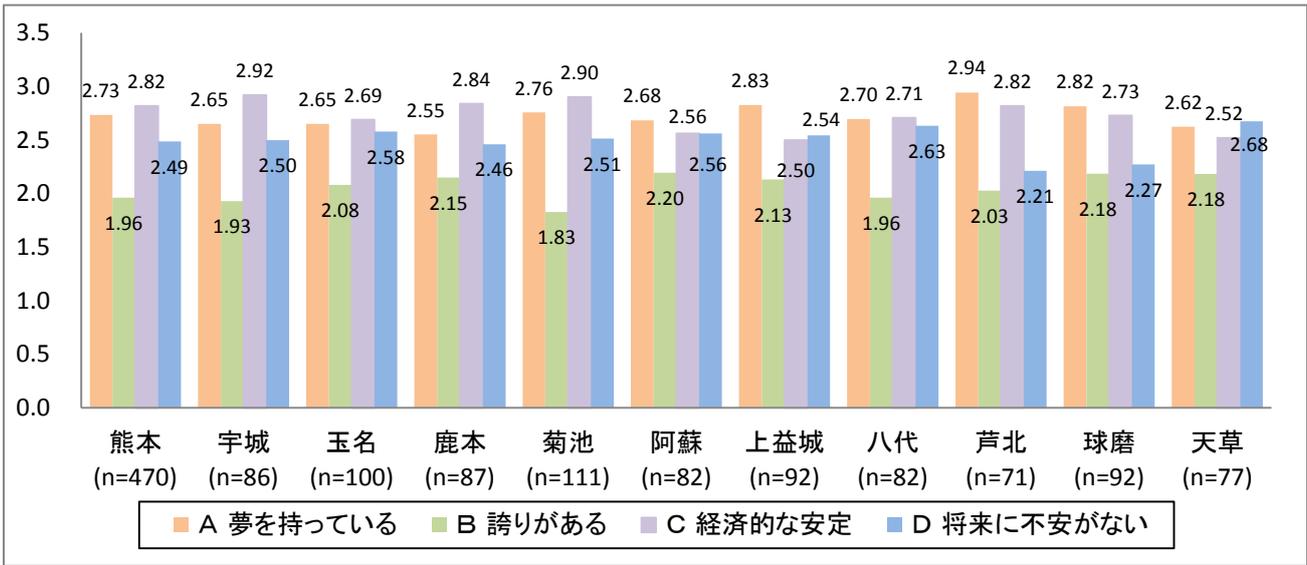


「直観的な幸福度」について、「幸福」だと感じている割合（「感じている」と「やや感じている」の合計）を地域別にみると、下表のような結果となった。最も割合が高い地域は、宇城84.2%であり、最も割合が低い地域は球磨62.2%であった。

【地域別に見た「幸福」だと感じている割合】

%	60 ~	63 ~	66 ~	69 ~	72 ~	75 ~	77 ~	80 ~	83 ~
地域	球磨 62.2				熊本 73.6			玉名 79.7	宇城 84.2
				阿蘇 71.2	八代 74.2	菊池 77.6			
			上益城 68.5	芦北 71.4	鹿本 75.8	天草 79.1			

問2 “4つの分類”のウエイト(重要度)について



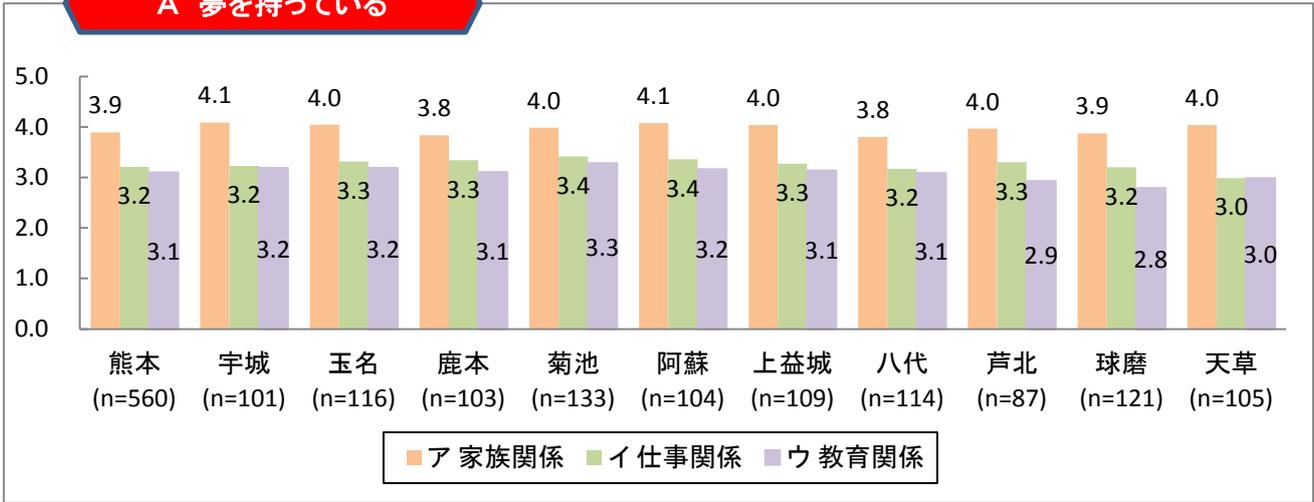
ウエイトの高さの順に11地域を整理すると、下表のようになった。

類 型	地 域
[類型Ⅰ] 「C 経済的な安定」 → 「A 夢を持っている」 → 「D 将来に不安がない」 → 「B 誇りがある」	熊本 宇城 玉名 鹿本 菊池 八代
[類型Ⅱ] 「A 夢を持っている」 → 「C 経済的な安定」 → 「D 将来に不安がない」 → 「B 誇りがある」	芦北 球磨
[類型Ⅲ] 「A 夢を持っている」 → 「C 経済的な安定」 = 「D 将来に不安がない」 → 「B 誇りがある」	阿蘇
[類型Ⅳ] 「A 夢を持っている」 → 「D 将来に不安がない」 → 「C 経済的な安定」 → 「B 誇りがある」	上益城
[類型Ⅴ] 「D 将来に不安がない」 → 「A 夢を持っている」 → 「C 経済的な安定」 → 「B 誇りがある」	天草

問3 “12の項目”に対する満足度(実感や考え)について

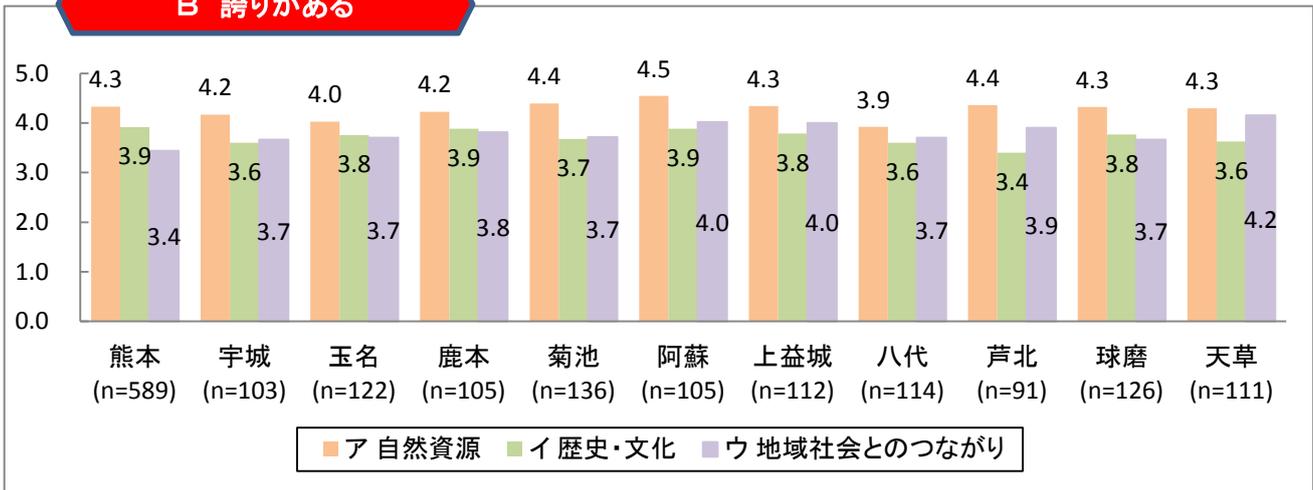
“4つの分類”ごとに、各項目の満足度の平均値を地域別に比較した。

A 夢を持っている



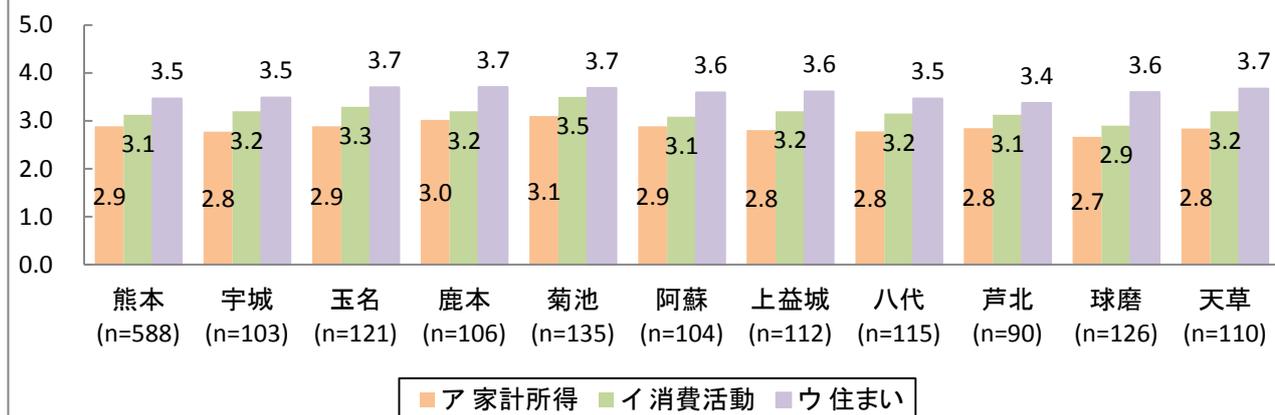
どの地域も「ア 家族関係」が最上位であった。次に「イ 仕事関係」、「ウ 教育環境」となる地域が多く、「宇城」、「天草」が「ア 家族関係」に次いで「イ 仕事関係」と「ウ 教育環境」が同順となった。

B 誇りがある



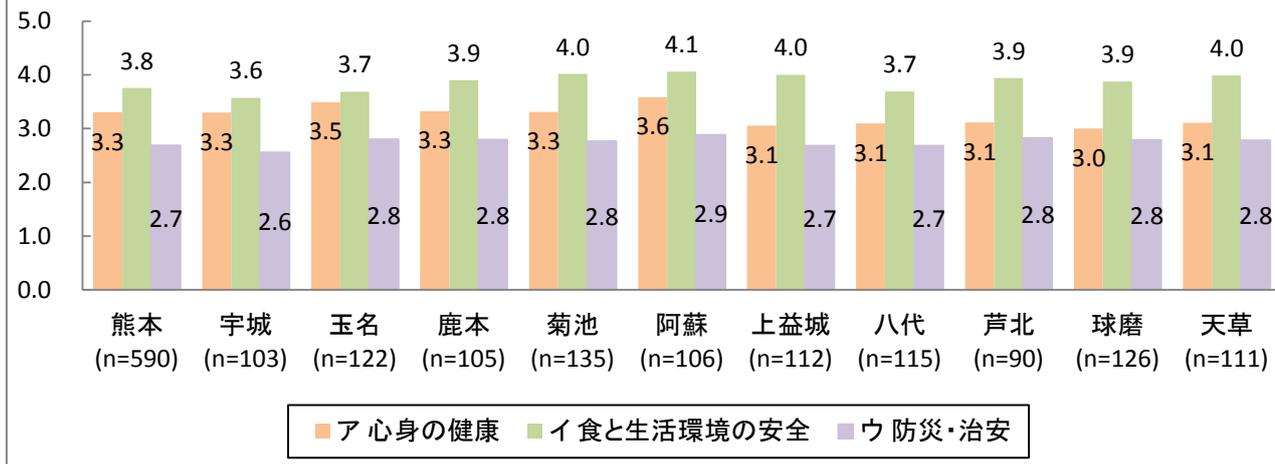
どの地域も「ア 自然資源」が最上位であった。「イ 歴史・文化」と「ウ 地域社会とのつながり」の順位については、地域によってバラつきがある。

C 経済的な安定



どの地域も「ウ 住まい」が最上位で、次いで「イ 消費活動」、「ア 家計所得」の順であり、同じ傾向がみられた。

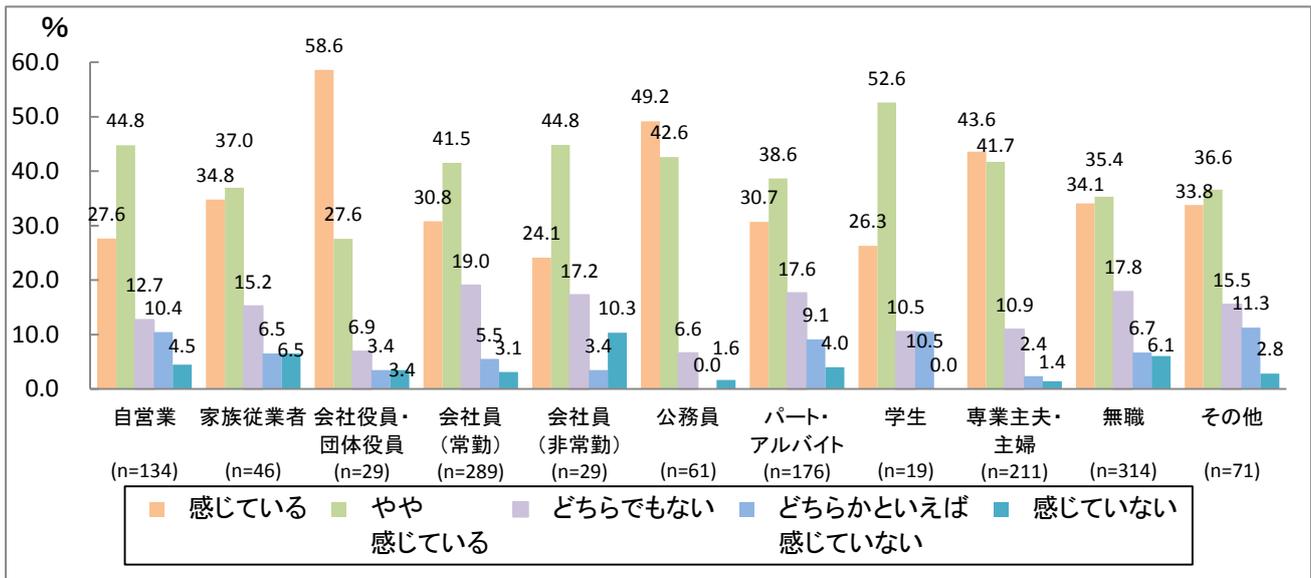
D 将来に不安がない



どの地域も「イ 食と生活環境の安全」が最上位で、次いで「ア 心身の健康」「ウ 防災・治安」の順であり、同じ傾向がみられた。

④職業別

問1 直観的な幸福度について

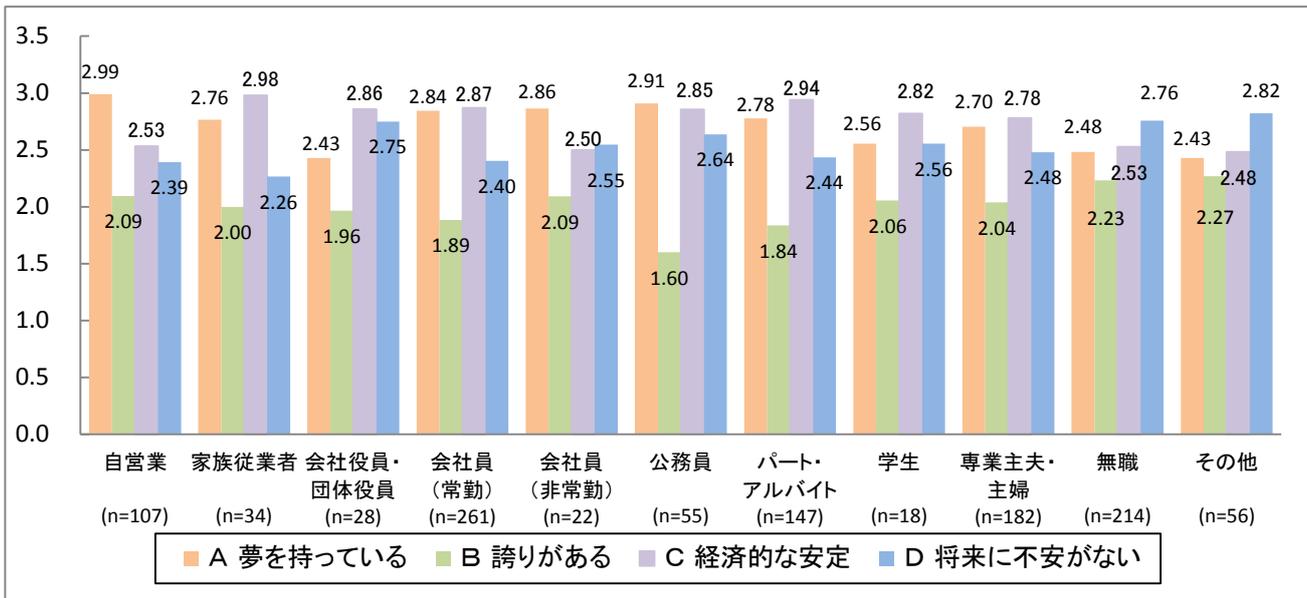


「直観的な幸福度」について、「幸福」だと感じている割合（「感じている」と「やや感じている」の合計）を職業別にみると、下表のような結果となった。

【職業別に見た「幸福」だと感じている割合】

職業	割合 (%)
パート・アルバイト	69.3
会社員 (常勤)	72.3
学生	78.9
専業主夫・主婦	85.3
公務員	91.8
自営業	72.4
会社役員・団体役員	86.2
無職	69.4
家族従業者	71.8
会社員 (非常勤)	68.9
その他	70.4

問2 “4つの分類”のウエイト(重要度)について

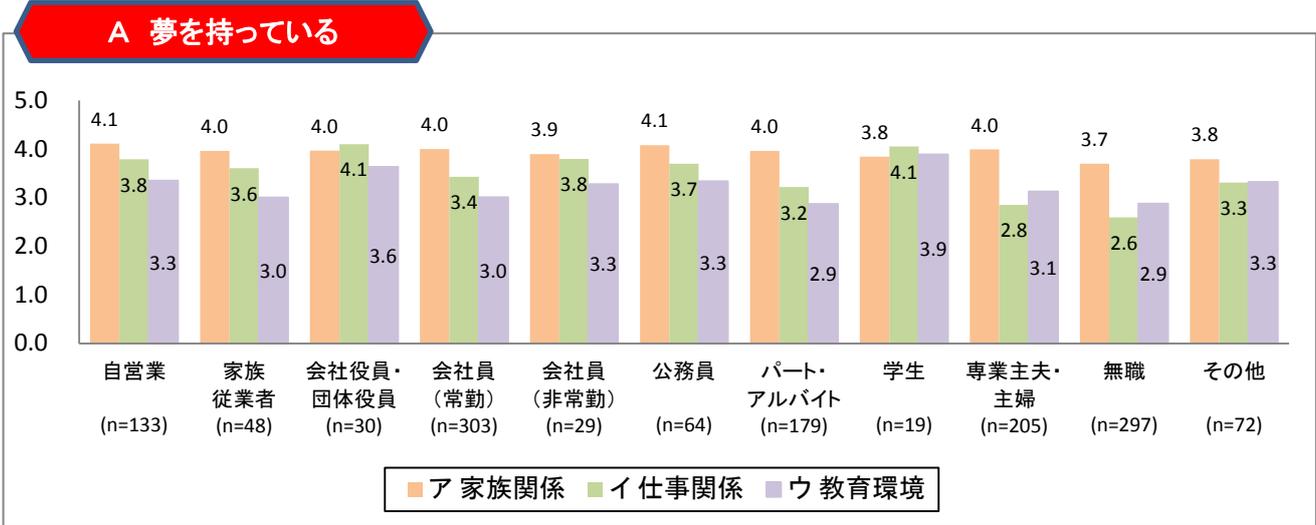


ウエイトの高さの順に職業別に整理すると、下表のようになった。

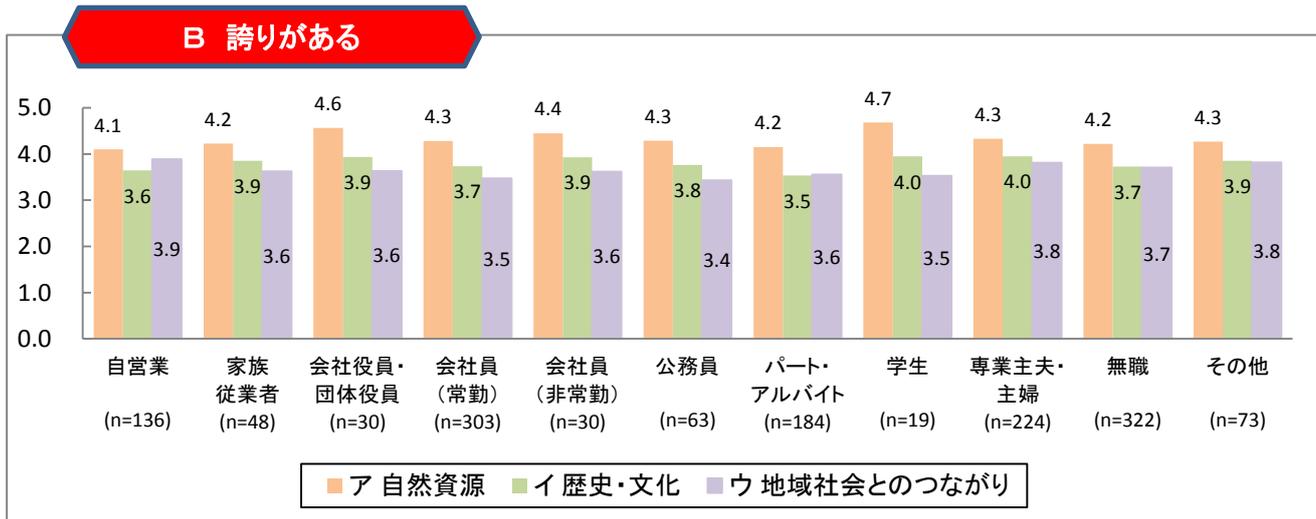
類 型	地 域
[類型Ⅰ] 「C 経済的な安定」 → 「A 夢を持っている」 → 「D 将来に不安がない」 → 「B 誇りがある」	家族従業者 会社員(常勤) パート・アルバイト 専業主夫・主婦
[類型Ⅱ] 「C 経済的な安定」 → 「A 夢を持っている」 = 「D 将来に不安がない」 → 「B 誇りがある」	学生
[類型Ⅲ] 「A 夢を持っている」 → 「C 経済的な安定」 → 「D 将来に不安がない」 → 「B 誇りがある」	自営業 公務員
[類型Ⅳ] 「A 夢を持っている」 → 「D 将来に不安がない」 → 「C 経済的な安定」 → 「B 誇りがある」	会社員(非常勤)
[類型Ⅴ] 「C 経済的な安定」 → 「D 将来に不安がない」 → 「A 夢を持っている」 → 「B 誇りがある」	会社役員・団体役員
[類型Ⅵ] 「D 将来に不安がない」 → 「C 経済的な安定」 → 「A 夢を持っている」 → 「B 誇りがある」	無職 その他

問3 ”12の項目”に対する満足度(実感や考え)について

“4つの分類”ごとに、各項目の満足度の平均値を職業別に比較した。

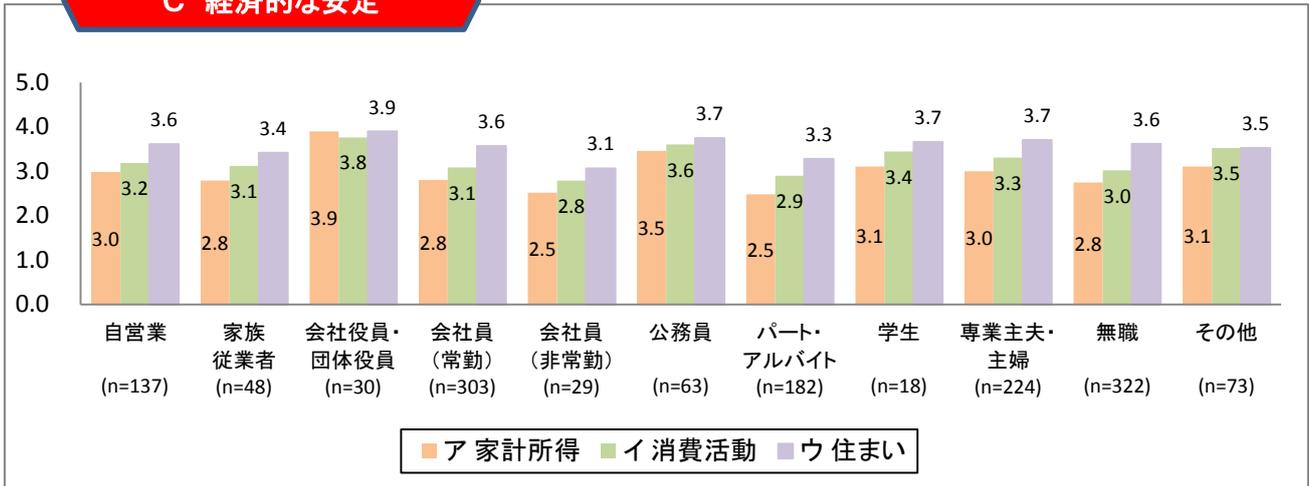


ほとんどの職業で「ア 家族関係」が最上位であった。次に「イ 仕事関係」、「ウ 教育環境」となる職業が多いなか、「専業主夫・主婦」「無職」では「教育環境」が2番目にあげられているのがみられる。なお、標本数は少ないものの「会社役員・団体役員」、「学生」では、「仕事関係」が最上位である。



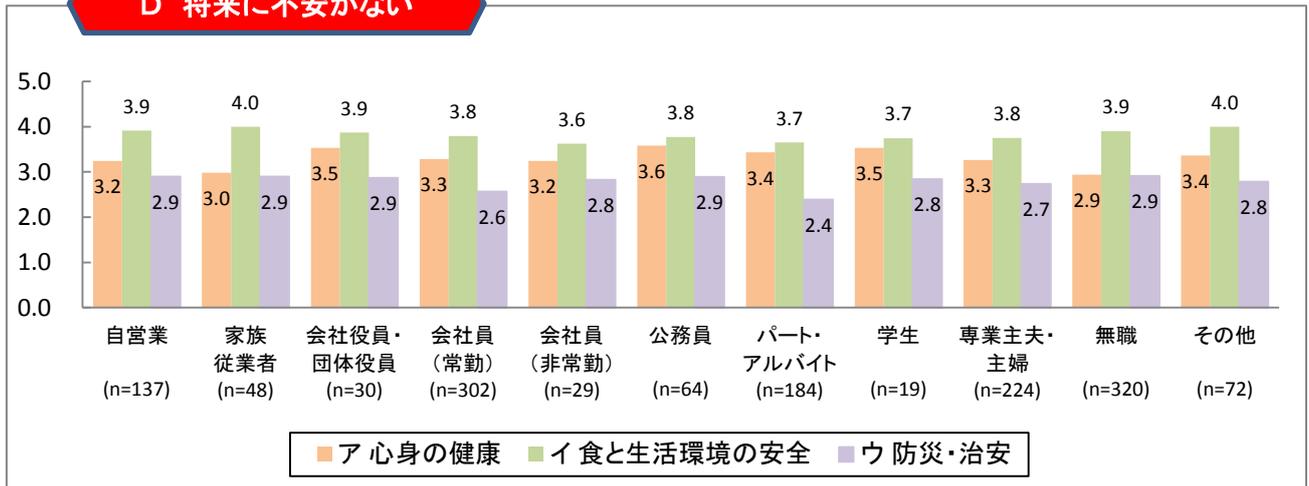
どの職業でも「ア 自然資源」が最上位であった。また多くが「イ 歴史・文化」と「ウ 地域社会とのつながり」の順で続くが、「自営業」と「パート・アルバイト」では「ウ 地域社会とのつながり」が「イ 歴史・文化」より若干高くなっている。

C 経済的な安定



多くの職業で「ウ 住まい」が最上位で、次いで「イ 消費活動」、「ア 家計所得」の順であった。標本数は少ないものの「会社役員・団体役員」では3つの分類に大きな差はみられなかった。

D 将来に不安がない



どの職業も「イ 食と生活環境の安全」が最上位で、次いで「ア 心身の健康」「ウ 防災・治安」の順であり、同じ傾向がみられた。

⑤まとめ

クロス集計の結果について、まとめると以下ようになる。

ア 男女別

- ・「直観的な幸福度」について、「幸福」だと感じている割合（「感じている」と「やや感じている」の合計）は、男性69.0%、女性78.3%であった。男性よりも女性の幸福度が高く、前年度、前々年度も同じ結果であった。
- ・“4つの分類”のウエイトに関して、男女の差は見られなかった。
- ・“12の項目”の満足度に関して、男女の差は見られなかった。

イ 年代別

- ・「直観的な幸福度」について、「幸福」だと感じている割合（「感じている」と「やや感じている」の合計）では、70歳以上が77.3%で最も多かった。どの年代もほぼ7割～8割は「幸福」と感じている。このなかで、30歳代と70歳代の「感じている」が4割と他の年代に比べ多く、幸福感の強さがうかがえた。逆に20歳代では「感じている」が他よりやや少なかった。
- ・“4つの分類”のウエイトの高さについて、概ね「A 夢を持っている」、「C 経済的な安定」の2分類が上位を占め、70歳以上では「D 将来に不安がない」が最も高くなる。また、年齢の上昇とともにウエイトの差が縮まっていく傾向がみられた。
- ・“12の項目”の満足度に対して、どの年代も“4つの分類”の中で最も満足度が高かったものが共通していた。「A 夢を持っている」では「家族関係」、「B 誇りがある」では「自然資源」、「C 経済的な安定」では「住まい」、「D 将来に不安がない」では「食と生活環境の安全」であった。

ウ 地域別

- ・「直観的な幸福度」について、「幸福」だと感じている割合（「感じている」と「やや感じている」の合計）で最も割合が高い地域は「宇城」84.2%であり、ついで「玉名」79.7%、「天草」79.1%、「菊池」77.6%の順で、最も割合が低い地域は「球磨」62.2%であった。
- ・“4つの分類”のウエイトに関して、11地域のほとんどの地域で「A 夢を持っている」と「C 経済的な安定」のウエイトが高かった。
- ・“12の項目”の満足度に対して、どの地域も“4つの分類”の中で満足度が最も高かったものが共通していた。「A 夢を持っている」では「家族関係」、「B 誇りがある」では「自然資源」、「C 経済的な安定」では「住まい」、「D 将来に不安がない」では「食と生活環境の安全」であった。

エ 職業別

- ・「直観的な幸福度」について、「幸福」だと感じている割合（「感じている」と「やや感じている」の合計）では、「公務員」91.8%が最も高く、次いで「会社役員・団体役員」86.2%、「専業主夫・主婦」85.3%の順で、最も低かったのは「会社員（非常勤）」69.0%であった。
- ・“4つの分類”のウエイトの高さについて、ほとんどの職業で「A 夢を持っている」、「C 経済的な安定」が上位を占めるが、「無職」「その他」では「D 将来に不安がない」が最も高くなる。
- ・“12の項目”の満足度に対して、「A 夢を持っている」では、「会社役員・団体役員」、「学生」を除くと、どの職業も「ア 家族関係」が最も高かった。その他については満足度が最も高かったものが共通しており、「B 誇りがある」では「自然資源」、「C 経済的な安定」では「住まい」、「D 将来に不安がない」では「食と生活環境の安全」であった。